



Nyanko(にゃんこ)

北海道北斗市出身 3歳で聴力失う。ダンサー、モデル、女優になる事を夢見て上京。手話パフォーマーとして手話の魅力を伝えるために首都圏を中心に精力的に活動中。

【主な経歴】

- ・Miss & Mister Deaf Stars 2015 (世界聴覚障害者ミス&ミスターコンテスト) グランプリ
- ・東京 2020 パリンピック開会式(2021年(令和3年)8月24日) パフォーマンスキャスト出演
- ・第19回ゴールドコンサート(NPO 法人日本バリアフリー協会主催)「観客賞」「ジャクソン賞」受賞
- ・「動画とイラストでよくわかる！ユーキャンのはじめて手話会話」(ユーキャン) 動画モデル出演



板橋かずゆき

青森県出身。3歳のころ視力が弱いことに両親が気づき、6歳で親元を離れ、青森県立盲学校に入学。徐々に視力を失い不安定な日々の中友人からの誘いで音楽を始め、15歳から作詞作曲を始めた。2005年5月、第二回ゴールドコンサートで準グランプリを受賞。これを機に年間100以上のライブ、講演依頼を受ける。2017年には歌手川中美幸さんへ楽曲提供。「津軽さくら物語」で作詞家としてメジャーデビューし、作家としても業界で注目を浴びている。



レンコンバンド

社会福祉法人 市川レンコンの会では障害があっても生まれ育った地域で生き生きと生活できるように様々な支援活動を展開している。

普段は千葉県市川市内9か所ある福祉作業所「レンコンの家」でパウンドケーキ・クッキー・ジャム・しいたけの製造販売、ブロー成型、家電リサイクル、下請け軽作業等を行っている。文化的活動として、レンコンバンドの活動を展開、地域のお祭り等のイベントで演奏し、イベントだけではなく地域を盛り上げると共に、自分たちも楽しんでいる。



ベリーダンサー sayoko

幼少の頃より、バレエ、新体操を学ぶ。

2004 年、サルサショーダンスを始めマリポーサスとしてショー活動。2006 年、ベリーダンスと出会う。
国内外の様々なベリーダンサーの指導を受け、都内レストランショー、イベントに多数出演。

ソロ活動の他『sayoko & yumiko』のデュオとしても活動

2010 年 お子様連れ OK のベリーダンスクラス「el sol la luna」主催。

2011 年 東京ベリーダンス国際大会 プロオリエンタルデュオ部門 決勝進出。

2012 年 JSA ストレッチング協会 ストレッチングトレーナーセルフ 資格取得。

「ソウフク」の取り組みに感銘を受け、本年度初参加。



浅草たいこばん

浅草を中心に活動する和太鼓団体。

(株)宮本卯之助商店製造の和太鼓にこだわり、Made in Asakusa をモットーに浅草の良さや風景を楽曲にのせて世界に広める活動をしている。

仲見世を通して雷門から昇竜する様子を表し、寅年に作調した「龍虎の舞」、
樹齢 800 年を超える銀杏の樹から見た浅草を表現した「浅草樹〜江戸ッ鼓」、
祭りの神様に対して感謝の太鼓を届ける「祭神」、参拝者を表現した「祀囃」など
伝統和太鼓本来の「祈り」「願い」「想い」を大切に「和」の心を後世に伝える活動を展開。

※「ソウフクフェスタ@上野公園」には開催主旨に賛同していただき、第 1 回より毎年出演、
好評を博している